

		令和5年度行政事業レビューシート				(文部科学省)		
事業名	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ			担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	人材政策課		人材政策課長 生田知子	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	・新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画～人・技術・スタートアップへの投資の実現～フォローアップ(令和4年6月閣議決定) ・統合イノベーション戦略2022(令和4年6月閣議決定) ・第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)			
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化			主要経費	科学技術振興費			
施策	8-1 科学技術・イノベーションを担う人材力の強化							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-03.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	研究者コミュニティの持続可能性を確保するとともに、多様な視点や優れた発想を取り入れ科学技術イノベーションを活性化していくため、女性研究者が出産、育児等のライフイベントにかかわらず研究を継続できる環境の整備や、上位職への登用の促進を行うことで、女性研究者の活躍促進を図る。							
現状・課題 (5行程度以内)	日本においては、女性研究者が出産、育児等のライフイベントと研究活動を両立できる環境の不足等の課題(※1)があり、女性研究者割合が諸外国と比較すると低い水準(女性研究者の割合は英国:39.0%、米国:33.9%、フランス:28.3%、ドイツ:28.1%、韓国:21.4%、日本:17.5%)にあり(※2)、特に上位職に占める女性研究者の割合が低い状況(大学における職位別の女性教員の在籍割合:講師33.4%、准教授26.1%、教授18.3%、副学長14.8%、学長13.2%)となっている。(※3) (※1)科学技術の状況に係る総合的意識調査2022(NISTEP)のうち、「女性研究者が活躍するためのライフステージに応じた支援等」の指数は4.1(「十分ではないとの認識」) (※2)出典:「科学技術研究調査報告」(日本)、「Main Science and Technology Indicators」(英国、韓国、フランス、ドイツ)、「Science and Engineering Indicators」(米国) (※3)出典:「学校基本調査」(令和3年度)							
事業概要 (5行程度以内)	研究と出産・育児等のライフイベントとの両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダーの育成を一体的に推進するダイバーシティ実現に向けた大学等の取組を支援する。また調査分析結果等を踏まえ、事業改善すべき点があれば適宜新たな型を導入しすることで施策をより効果的に実施している。 牽引型(複数の機関が連携し、地域や分野における女性研究者の活躍を牽引する取組に対する支援):平成28年度～ 先端型(女性研究者の海外派遣等を通じた上位職登用の一層の推進等の取組に対する支援):平成30年度～ 特性対応型(分野や機関の研究特性や課題等に対応し、研究効率の向上を図りつつ、女性研究者の活躍を促進する取組に対する支援):令和2年度～ 女性リーダー育成型(上位職への女性研究者の登用を推進するため、挑戦的・野心的な数値目標掲げる大学等の優れた取組に対する支援):令和4年度～ 調査分析(女性研究者の活躍促進に資する海外の優れた取組に関する調査分析に対する支援):令和元年度～							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/lifeevent/1418878.htm							
実施方法	補助							
補助率等	補助対象:国公立大学、国立研究開発法人等 補助上限額:(牽引型・先端型・特性対応型)40百万円程度/年・件、(調査分析)25百万円程度/年・件、(女性リーダー育成型)上限70百万円程度/年・件							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	1,014	1,026	1,037	1,087	1,368	
		補正予算(B)	-	-	-	-		
						-		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
	予備費等(E)	-	-	-	-			
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	1,014	1,026	1,037	1,087	1,368		
	執行額(G)	546	768	710				
執行率(%) =(G)/(F)	54%	75%	68%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	54%	75%	68%					
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		研究振興費			支援単価の拡充		
	(目)	科学技術人材育成費補助金	1,087	1,366	重要政策推進枠 471百万円			
	(目)	職員旅費	0.9	0.9				
	(目)	委員等旅費	0.5	0.5				
	(目)	諸謝金	0.1	0.1				
		その他	▲ 2	0				
	計(A)		1,087	1,368				

活動内容① (アクティビティ)		女性研究者の活躍促進を図るため、出産・育児等のライフイベントにかかわらず研究を継続できる環境の整備や、女性研究者の上位職登用の推進に取り組む大学等を支援する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの支援件数が当初見込みの9割を上回る。	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの支援件数 ※当初見込み:予算積算上の継続支援件数と新規採択予定件数の合計	活動実績	件	26	25	22	－	－
				当初見込み	件	26	26	23	19	－
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	採択機関において女性研究者の活躍促進を図る取組が推進されることにより、採択機関における女性研究者の割合が増加することを想定しており、採択機関における女性研究者の割合に関する状況を踏まえ、必要に応じ中間評価等において各機関に取組の改善を求めるなど、事業の改善方策の検討を行うことを想定している。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 4 年度	
		ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブにおいて採択機関に在籍する研究者のうち女性の割合が、令和4年度までに23%を上回る。	支援対象機関に在籍する女性研究者の合計人数/支援対象機関に在籍する研究者の合計人数	成果実績	%	20.7	22.8	22.8	22.8	
				目標値	%	20.1	21.5	23	23	
				達成度	%	103	106	99.1	99.1	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		成果実績:本事業の採択機関による年次報告等 目標値:総務省「科学技術研究調査」								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	本事業においては、採択機関における女性研究者の上位職登用促進に係る好事例についての認知度が高まることにより、採択機関以外も含めた大学全体において女性研究者の上位職登用に関する取組が促進され、大学全体における上位職の女性研究者の割合が増加することを目指しており、大学研究者の上位職に占める女性の割合の変化を踏まえ、必要に応じ事業の制度設計の変更を行うなど、改善方策の検討を行うことを想定している。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
		大学研究者の上位職における女性の割合が上昇する。	大学本務教員の教授等(学長、副学長、教授)のうち女性の人数/大学本務教員の教授等の人数	成果実績	%	17.7	18.2	18.7	－	
				目標値	%	17.7	18.7	19.8	23	
				達成度	%	100.2	97.2	94.4	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省「学校基本調査」 ※全研究者に占める女性研究者割合の令和元年度の数値(16.6%)と令和7年度目標値の値の差を一定の割合で増え続ける仮定で目標を設定しているが、データの性質上必ずしもこの割合で推移するとは限らない。								
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカムへのつながり)	本事業においては、大学全体における上位職の女性研究者増加により、女性研究者全体の活躍が促進され、社会全体において女性研究者の割合が上昇することを目指しており、研究者全体における女性割合の状況を踏まえ、必要に応じ事業の制度設計の変更を行うなど改善方策の検討を行うことを想定している。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 令和 7 年度	
		研究者全体に占める女性の割合が上昇する。	研究者全体に占める女性の割合	成果実績	%	17.5	17.8	－	－	
				目標値	%	17.7	18.7	19.8	23	
				達成度	%	99.1	95	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		総務省「科学技術研究調査」 ※令和元年度実績値(16.6%)と令和7年度目標値の値の差を一定の割合で増え続ける仮定で目標を設定しているが、データの性質上必ずしもこの割合で推移するとは限らない。								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
710百万円

職員旅費 0.1百万円 を含む

我が国の科学技術を担う優れた人材を育成し、
その活躍を促進するため、理数分野に関して意
欲ある学生の能力や研究意欲をさらに高めると
ともに、博士課程学生等のキャリアパスを多様化
させる。また、高等な専門的能力を有する技術者
の認定制度を運用する。

A.科学技術人材育成費補助金
(ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ)

710百万円
大学等
(全28件)

研究と出産・育児・介護等との両立や女性研究者の研究力の向上
を通じたリーダー育成を一体的に推進するなど、研究環境のダイ
バーシティ実現に関する目標・計画を掲げ、優れた取組を体系的・
組織的に実施する大学等を選定し、重点的に支援する。

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
事業実施費	事業を実施する上で必要となる旅費、消耗品費等	58			
計		58	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

